大阪城

2020 12/14 (月) 14:26号

全港湾 西成分会

ごんわ 6647-4947

コロナの死者がアメリカでは30万人を超える勢いである。日本でも、2600人をこえて、3000人にせまってきている。この1年、コロナウィルスばかりで新年も、ウシ年だけれどコロナ新年になりそうである。

全国的に大阪、東京、北海道がコロナが多いと連日報道され、近くの兵庫、京都、奈良からは大阪へは行かん方がええ……とかいわれはじめているありさまである。

イソジンで防衛、撃退できたんちゃうんかい！と、漫才のギャグで使わんかい！と思うが、権力とズブズブで毒まんじゅうが体中に回った芸人さんたちには権力批判をする才賞も元気もないようだ。

都構想を通すための行政ばっかし、長年やってきていた大きなツケが市民の上におそいかかってきている。世界の中の、都市としての評価も大阪は毎年ランクがおちてきている。まだ、カジノだ、万博だといっているが、市民の生命、健康を維持する行政としての仕事をちゃんとやって欲しいものである。

今年もあと2週間、日雇い求人どこまであるのかな？

新型コロナ大阪非常事態延長(時短営業)ー大阪市全域

12月、師走の書き入れ時の時節。
「大阪非常事態『勝負の三週間』も感染拡大が止められず、期間の延長と北と南の時間短縮要請を大阪市全域に拡大することになりそうです。

づっと低迷している日雇いの労働市場ですが例年12月に入ると少ない仕事も更に一段と少なくなります。「顔づけ求人」ばかりになり「現金求人」市場が無くなってきます。コロナの関係で仕事を探しに新しく来た人や　古くからの労働者の仲間もなかなか年末年始の計画を立てずらいと思います。それでも「師走」というように時間が矢のように過ぎ去っていきます。

それにしてもコロナの禍が、社会全体を覆いつくしてしまっているので、「あいりん」だけの「特別対策」といっての政策の意味もかわってきているみたいです。それでも行政の「越年対策」もしっかりやってもらわないといけません。

新型コロナウイルスの重症患者の急増を受け、大阪府は緊急の対策本部会議を開き、独自の判断基準「大阪モデル」で非常事態を示す「赤信号」の点灯を決定しました。
今日延長を決めるようです。